

朝晩めっきり寒くなり、マスクをしている人が増えてきました。山の色合いも変わってきたのを見てみると秋も深まってきたような気がします。3年生は進路が決まる人が出てき始めましたし、担任の先生との面談も夏より熱がこもってきています。面接練習を申し込んでくる生徒も増え、受験モードに入っています。また、今になってという感もありますが11月1日に文部科学大臣から「大学入試英語成績提供システム」の導入見送りが発表されました。1・2年生はネットの噂などに振り回されずに情報収集と対応に努めて下さい。

■令和2年度大学入試センター試験まであと72日

3年生は大学別模試がありはしますが、10月の後半から毎週土日は模試という生活から一段落する人もいるかもしれません。なぜこんなに模試を受けるのでしょうか？模試を受ける意味はたくさんありますが、強調しておきたいのは以下の3点です。

- ①又ケ、モレを確認する ②本番をシミュレーションする ③自分の位置を確認する

模試は受けて終わりではありません。模試を通し、自分の弱点を客観的に分析・把握していきましょう。特にマーク模試は自己採点をしてすぐに見直しをすることが必須です。その見直しの中でミスや又ケ・モレに出会うでしょう。それらにどう対処するかが大切です。間を置かずに原因を分析してフォローし、分からないところはすぐに先生に質問にいく脚力も鍛えていきましょう。記憶は薄れていくもので弱点や苦手だとなおさらです。徹底して反復することで又ケ・モレをなくしていきましょう。10月進駿記述模試の解答冊子の表紙にテーマとして『1点をつかみとる答案作成力を磨く』とありました。1点をつかみとる努力をしていますか？その1点が明暗を分けるかもしれませんよ。

■「大学入試英語成績提供システム」導入見送り

2年生の皆さんにとっては英検の仮予約を終え、共通IDの申込用紙を提出した矢先の出来事で驚いたことでしょうか。11月1日の終礼でもお伝えしたとおり、正確な情報収集と対応が大切です。現時点で今後の状況についてははっきりとお伝えできることはあまりないのですが、いくつかHP等で確認できることをお伝えします。

- ① 「大学入試英語成績提供システム」の導入見送り
- ② 「共通ID発行申込み」の中止
- ③ 「英検2020 1 day S-CBT」の返金申込受付期間一旦延期
- ④ 大学によっては従来型の英検に加え「英検2020 1 day S-CBT」の試験結果も入試に活用可能
- ⑤ 今まで同様英語に真摯に取り組む

益高からも情報発信を心掛けますが、生徒や保護者の皆さんも関心を持って各団体のHP等に注意を払って下さい。(まとめサイトなどの怪しい噂に流されないように注意しましょう。) 広島大学と英検のコメント(HPから引用したもの一部抜粋)を載せておきます。



英語民間試験の導入延期に伴う広島大学の対応について

本日、萩生田光一文部科学大臣から、令和3年度大学入試(令和2年度に実施)における英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」について導入を見送るとの発表がありました。

国立大学協会の基本方針を踏まえて同システムの利用を予定していた本学としても、英語民間試験受験に向けて熱心に準備を重ねていた皆さんには、大変申し訳なく思います。

広島大学では、今後のグローバル社会で活躍できる人材の育成やキャンパスの国際化等の取り組みの一環として、平成28年度入試から英語民間試験を入試に活用してきたところです。本学では、今回の変更にかかわらず、英語民間試験の一般入試や光り輝き入試(AO入試、推薦入試)での活用を継続し、国立大学としての人材育成機能を着実に果たしていきます。

なお、令和3年度大学入試にかかわる本学の方針・変更点等については、すでに本学ホームページで公表しているところですが、今回の発表を受けて必要な修正等を早急に検討し、改めて同ホームページで公表する予定です。

広島大学理事・副学長(教育担当) 宮谷 真人